

VI 現代的課題対応学習事業の概要

地域が抱える緊急の課題に的確に応えることを目指し、市民館等が社会や地域のニーズを適切に調査・研究し、先導的・主導的に実施していく事業として2008（平成20）年度から新たに開設した。



1 シニアの社会参加支援事業

いわゆる団塊の世代の市民が、これまで社会で培った豊富な経験と知識、多様な能力を活かし、これまで関わりの少なかった地域社会での様々な活動に参加できるよう支援することを目的に開設した。2011（平成23）年度に「入門コース」に加えて「活動コース」を新設した。

(1) 入門コース

シニア世代等の地域参加に向けた入門的な啓発事業として実施した。「地域活動への参加」や「地域との係わり方」等に関する学習機会を提供し、地域参加の「はじめの一步」となるように基本的知識や技術を高めながら仲間作りを図ると共に、多様な学習形態により多くの市民が参加できるように工夫した。

(2) 活動コース

シニア世代等が自らの経験・知識・能力を活かして地域社会で活躍できるよう支援することを目的とし、2011（平成23）年度に開設した。「入門コース」の学習内容からの発展をより意識し、修了後の自主的な活動に向けた仲間づくり、具体的な地域活動の実践への支援を行った。

VI1 (1) シニアの社会参加支援事業 (入門コース)

教文 はつらつシニア

主 題：はつらつとした毎日を過ごすためのシニアのススメ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6	24	水	参加者同士の交流を図る	自己紹介 オリエンテーション	職員 企画委員
2	7	8	水		市民ミュージアム見学 川崎市の施設を知る	市民ミュージアム職員
3		29	水	認知症予防について学ぶ	折り紙を折る事で脳の活性化を行う	折り紙作家 宮島 登
4	9	9	水		寝たきりにならないためのストレッチを学び、足を鍛える	聖マリアンナ医科大学 スポーツ医学講座 寺脇 史子
5	10	13	火		一人暮らしのための簡単で栄養価のある料理を学ぶ	管理栄養士 室賀 伊都子
6		21	水	介護制度を学ぶ	介護制度を知り、また利用方法についても学ぶ	(有) アロマプランニング 代表 井上 康子
7		28	水		特別養護老人ホームを見学し、利用者の生活等について学ぶ	特別養護老人ホーム「ゆとりあ」 職員
8	11	14	土	地域活動について学ぶ	ゴミ拾いを通して地域活動を体験してみる	NPO 法人 グリーンバード
9		25	水		地域活動している先輩の話を聞き、活動の参考にする	アゼリア in シニア合奏団 青木 晋也
10	12	16	水	振り返り まとめ	今まで学んだ事をこれからの活動にどう生かしていくかを考える	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
11	3	24	木	認知症予防について学ぶ II	「公開講座」 シニアのための健康管理について学ぶ	聖マリアンナ医科大学 准教授 藤谷 博人他

●開設場所 教育文化会館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 川崎区在住・在勤の方 20名

●参加者数 30人(男8人、女22人)

●延べ人数 241人

●企画委員 10回

●会企画委員 9人

大師 シニア男子で集まろう

主 題：食をテーマに学びながら交流を図り地域での生活に関心を持つ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	6	11	木	シニア世代の栄養について学ぶ	オリエンテーション シニアの食生活の課題について学ぶ	元病態栄養専門士 三津間 通
2		18	木	前回の学習の振り返り	シニアの栄養について学んだことを調理実習を通して実践する	管理栄養士 米井 智子
3		25	木	環境について学ぶ	川崎の環境への取組みについて学び、資源の循環について考える	環境局浮島処理センター 川崎エコ暮らし未来館 職員 職員
4	7	2	木	受講者同士の親睦を図る	食事が健康を支えるだけでなく、交流や親交を図る要素であることを学ぶ	(株)日清製粉グループ フラワー手作り教室 担当講師
5		9	木	学習を振り返り、シニア世代の交流について考える	講座の感想や地域で交流を深めることについて話し合う	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代

●開設場所 大師分館

●時間帯 10:00～12:00

●対象 市内在住の概ね50歳以上の男性

●参加者数 12人(男12人、女0人)

●延べ人数 50人

田島 防ごう！生活習慣病

主 題：生活習慣病予防のため、食生活の知識や口腔ケアなどを学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7	11	土	生活習慣病について学ぶ	生活習慣病とその予防の大切さを学ぶ	神奈川県栄養士会副会長 寺嶋 寿介
2		18	土	口腔ケアについて学ぶ	口腔ケアについて学び、実際に体験してみる	歯科医師 今井 雅文
3		21	火	健康のためにウォーキングを習慣づける	定期的に地域で行われているウォーキングに参加する	桜寿園地域包括支援センター 職員
4	8	1	土	健康のためのトレーニングを学ぶ	健康のためのヨガを学ぶ	ヨーガ森の会 指導者 森 君子
5		8	土	生活習慣病対策の食事とは	生活習慣病対策として、健康的な食事の知識を学ぶ	病態栄養認定管理栄養士 日本糖尿病療養指導士 田邊 弘子

●開設場所 田島分館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対象 50歳以上の関心のある方20名

●参加者数 12人(男4人、女8人)

●延べ人数 52人

幸 50歳からの写真入門

主 題：写真を通して地域の仲間を作ろう

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	21	木	写真を撮るとは	オリエンテーション	日本写真協会 川口 道明 職員
2		28	木	講師の写真に学ぶ	写真は心を映す	
3	2	4	木	写真合評	各自の作品紹介	
4		18	木	写真合評2	各自の作品紹介	
5		25	木	初めての写真展に向けて1	写真の選び方	
6	3	3	木	初めての写真展に向けて2	タイトルの付け方 修正の仕方	
7		17	木	写真展準備	写真をプラダンに貼る	
8		19	土	はじめての写真展	写真展	

●開設場所 幸市民館

●時間帯 14:00～16:00

●対象 概ね50歳以上の関心のある方

●参加者数 25人(男11人、女14人)

●延べ人数 106人

日吉 日吉でわくわくシニアライフ

主 題：シニア世代が仲間づくりと共に地域活動に関わるきっかけを作る

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2	5	金	仕事や子育てが一段落したシニア世代を対象に、仲間づくりとともに、地域で活動する楽しさや意義を理解していき、地域活動に積極的参加できる人材を育成する	オリエンテーション・自己紹介	コミュニティサポートネット トータルマネージャー 齋藤 千恵
2		12	金		スポーツを通じた社会参加について学ぶ	NPO法人 ファンズアスリートクラブ 理事長 井上 秀憲
3		19	金		運動を通じて健康な体づくりと仲間づくり	
4		26	金		有意義なシニアライフに向けての市民活動	(公財) かわさき市民活動センター 理事長 小倉 敬子
5	3	4	金		学習を振り返り、今後の地域活動について考える	

●開設場所 日吉分館

●時間帯 13:00～15:00

●対象 概ね50歳以上の関心のある方

●参加者数 13人(男4人、女9人)

●延べ人数 36人

中原 学習情報提供・学習相談事業相談員養成講座

主 題：「学びのサポーター」をこれからのあなたのシニアライフに

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11	13	金	オリエンテーション	学習情報提供・学習相談事業の果たす役割と川崎市の生涯学習の歴史について	元社会教育主事 中村 高明
2		20	金	相談を受ける際に必要なこと①	傾聴やコミュニケーション能力について学び「聞くことの大切さ」を考える	C. H. R. 研究所 所長 小山田 治子
3		27	金	相談を受ける際に必要なこと②	ロールプレイ等を交えて実際の相談者との対応について学ぶ	
4	12	4	金	他都市の状況について	神奈川県生涯学習サポート課における学習相談業務について学ぶ	神奈川県立図書館 生涯学習サポート課 学習相談員 中山 耕造
5		11	金	中原市民館の学習情報提供・学習相談事業を知る	中原市民館生涯学習相談ルーム「アスク」の活動について現相談員から学ぶ	生涯学習相談ルーム「アスク」 生涯学習相談員

●開設場所 中原市民館

●時間帯 14:00～16:00

●対象 概ね50歳以上の関心のある方

●参加者数 12人(男0人、女12人)

●延べ人数 48人

中原 認知症は治る！？ 公開講座

主 題：いつまでも元気なシニアでいるために

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	12	1	火	いつまでも元気な生活を送るために、何が大切なのかを考え、認知症についての理解を深める	【公開講座】認知症にならずに、元気なシニアライフを送るためには何が必要なのか、また、家族や自分自身が認知症になった場合どのように向き合っていくのかを学ぶ	元NHKプロデューサー 林 勝彦

●開設場所 生涯学習プラザ

●時間帯 14:00～16:00

●対象 概ね50歳以上の関心のある方

●参加者数 165人(男58人、女107人)

中原 シニアの力で高齢社会を幸齢社会にPART 2

主 題：元気なシニアが地域を活性化する

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2	18	木	健康なシニアライフを送るために	健康管理の観点からこれからのシニアライフを考える	中原区役所保険福祉センター 地域保健福祉課 保健師 清水 早苗
2		25	木	食生活から健康管理	これからの健康管理について食生活から考える	栄養士 米井 智子
3	3	3	木	介護を受けることのない生活	健康なシニアライフに重要な介護予防について考える	とどろき地域包括支援センター センター長 北川 大
4		10	木	健康なシニアライフと地域活動	地域での仲間作りや地域活動が、健康なシニアライフにどう結びつくのかを考える	参画はぐくみ工房 代表 竹迫 和代
5		17	木	新たなステージへ	これまでの講座をふりかえり、健康なシニアライフを送るための手段を、地域の中に見出せるのかを各自が考える	NPO法人かわさき創造プロジェクト代表理事 おやじの会「いたか」世話人 大下 勝巳

●開設場所 中原市民館 他

●時間帯 14:00～16:00

●対象 概ね50歳以上の関心のある方

●参加者数 27人(男16人、女11人)

●延べ人数 85人

高津 シニア世代のパワーアップセミナーPart II

主 題：健康、生きがい、地域での活動と仲間づくり

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9	18	金	シニア世代の充実した生活のために必要な心身の健康維持、社会保障、消費者保護制度の学習及び市民活動の紹介と体験	オリエンテーション「語り合うこと」から始めましょう！	職員
2	10	2	金		シニア世代の安心のための社会保障	(有)アロマプランニング代表取締役 FP・社会福祉士 井上 康子
3		9	金		悪質商法や振り込め詐欺などにだまされないために	(特非)かわさきコンシューマーネット 副理事長 坂井 悦子
4		16	金		シニア世代の経験や知識を活用したボランティア活動	(特非)ナルク・川崎 代表 花崎 良政
5		23	金		シニアのための食育～健康・長寿を願う人のために～	高津区役所地域保健福祉課 管理栄養士 北野 葉子
6	11	6	金		シニア世代の健康管理と健康体操の意義	高津区役所地域保健福祉課 保健師 廣田 菜津子 高津区運動普及推進員3人 代表 田中 郁子 会員 高橋 政敏
7		15	日		里山の環境保全に取り組む市民の活動	川崎・多摩丘陵の里山を守る会 代表 田中 郁子、高橋 政敏
8		20	金		「振り返り」の会～これからの活動へのスタートラインとして～	職員

●開設場所 高津市民館 他

●時間帯 13:30～16:00

●対象 50歳以上の関心のある方 20名

●参加者数 18人(男6人、女12人)

●延べ人数 98人

橘 シニア男子の元気力向上講座

主 題：運動と料理で楽しくパワーアップ！

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	15	金	健やかな地域生活の基盤となる運動を学ぶ	自身の体の仕組みを理解し、日常的に継続できる運動を学ぶ	川崎市医療生活協同組合 運動トレーナー 小松 厚志
2		22	金	シニア世代に必要な心構えについて	これまでの自分を振り返ることで、一步を踏み出す見通しを持つ	宮前区社会福祉協議会会長 天台宗泉福寺 住職 浮岳 堯仁
3		29	金	食事作りの基本を学ぶ	だしのとり方をもとに、和食の基本を学ぶ	管理栄養士 米井 智子
4	2	5	金	地産地消と旬の食材について学ぶ	食材の選び方、旬の物を選ぶ利点を考える	
5		12	金	自分で作ることの充実感を味わう	昼食等、一人でとる食事メニューを学ぶ	
6		26	金	アイデアを仲間内で共有する	今あるものを使ってのアイデア料理を考える	

●開設場所 橘分館

●時間帯 13:30～16:00

●対象 シニア世代の男性

●参加者数 17人(男17人、女0人)

●延べ人数 96人

宮前 いきいきシニア地域セミナー

主 題：地域との関わり方に関する学習機会を提供し、地域参加へのきっかけ作りとする

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	20	水	安心して学ぶ場作り、学習の基礎作り	オリエンテーション、地域でボランティア活動することを考える	共育ひろば 主宰 牧岡 英夫
2		23	土	地域コミュニティについて考える	「うつしよの静寂に」上映と講話	ささらプロダクション 代表取締役 小倉 美恵子
3		27	水	地域を再発見する	地域の歴史や風土についての情報を知り、まち歩きルートを決める	宮前観光ガイドの会、宮前の歴史を学ぶ会
4	2	3	水		講師の解説の下で、自分たちで決めた経路で区内を散策する	相談役 森川 一郎 会長 小川 清
5		12	金	地域での活動について知る	地域で活動している方の話から地域活動の実情を知る	ボランティアグループすずの会 代表 鈴木 恵子
6		17	水			21会(宮前区男性まごころの会) 代表 池田 泰則 会員 金子 伸二 土橋町会副会長、宮前区社協第二地区社協会長 老門 泰三
7	3	3	木	地域活動に体験参加する	地域で活動している団体の活動に体験参加する	鷺沼仲よしサロン 代表 板垣 尚子
8		9	水	講座の振り返り・まとめ	ボランティア活動・地域・自分を結び付け、これからの地域生活について考える	牧岡 英夫

●開設場所 宮前市民館 他

●時間帯 主に10:00～12:00

●対象 概ね50歳以上の区内在住・在勤の方

●参加者数 23人(男12人、女11人)

●延べ人数 136人

菅生 すがお男の昼パブ

主 題：シニア男性の地域における意見交流の活性化

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9	19	土	・シニア男性が地域で意見交流する意義を確認する ・さまざまな生活・地域課題にどう向き合うか考える ・地域のことを知る ・心身ともに健やかであるために何が必要か気づく	それぞれの健康法から考える	企画委員 野田 精一
2	10	17	土		身の回りの認知症とどう向き合うか	鷲ヶ峰地域包括支援センター 職員
3	11	14	土		落語上演と事業PR	幸落語研究会 かばちや大福・よろず家笑治
4	12	19	土		現代に活躍する女性と「ビール愛」について	WEBマガジン「ビール女子」編集長 瀬尾 裕樹子
5	1	16	土		音楽を楽しみ健康づくり	生涯学習音楽指導員 北出 聡美
6	2	20	土		これからの地域コミュニティのあり方	大妻女子大学教授 吉原 直樹
7	3	19	土		私の生きがいから考える	企画委員 山岸 秀男

●開設場所 菅生分館

●時間帯 15:00～17:00

●対象 概ね50歳以上の関心のある方

●参加者数 11人(男10人、女1人)

●延べ人数 82人

●企画委員会 4回

●企画委員 5人

多摩 ご近所サロンいくた

主 題：IN生田出張所 笑顔の集いと学びの部屋

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9	9	水	地域で自分らしく健康に生きるためにご近所とのつながりを持つ	知り合おうみんなで笑顔。笑いヨガ体験を通じて懇親を図る	日本笑いヨガ協会 成嶋 規子
2		16	水		健康な毎日のお食事と生活習慣のコツとヒントを学ぶ	多摩区地域保健福祉課 蛭川 睦
3		30	水		自分らしく生きるための終活エンディングノートに触れる	ファイナンシャルプランナー 佐藤 英二
4	10	7	水		観劇を通して地域の繋がりや支え合いの仕組みを知る	劇団 辻シアター 多摩区地域保健福祉課 職員
5		14	水		振り返り	職員

●開設場所 生田出張所

●時間帯 10:00～12:00

●対象 概ね50歳以上関心のある方

●参加者数 16人(男6人、女10人)

●延べ人数 68人

多摩 地域があなたを待っている！多摩区デビュー交流会

主 題：地域での仲間づくりと社会参加のきっかけをつくる

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	9	16	水	自己紹介	参加者同士の交流を図り、今後の仲間づくりにつなげる	職員
2	10	7	水	助けられ上手講座	地域のつながり・支えあいを「助け合いのお付き合い」観劇を通じて学ぶ	劇団辻シアター 代表 辻 三太郎
3		14	水	多摩の菓子職人に学ぶお菓子づくり	地域の専門家に話を聞きながら菓子作りをして交流し、地域に関心をもつ	川崎市菓子協議会多摩麻生支部 支部長 岩野 正行
4		21	水	多摩で備える、助け合う、災害の対策	災害時の地域・近隣住民での助け合いについて学び、考える	NPO法人ウィメンズアイ 事務局長 栗林 美知子
5		28	水	AEDを使えるようになるう	AED操作や心肺蘇生実習をとおして救命について学び、支え合いに役立てる	多摩消防署 職員
6	11	4	水	多摩のまちおこし活躍する先輩に聞く	多摩区の特徴に触れ、仲間と交流を図りながら、地域への理解・愛着を深める	多摩区観光協会 会長 末吉 一夫
7		11	水	多摩でのこれからを考えよう	現在多摩で活動する青少年指導員の実態を学び、地域活動に関心を持ち考える	青少年指導員 石橋 博

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 10:00～12:00

●対 象 概ね50歳以上の関心のある方

●参加者数 6人(男2人、女4人)

●延べ人数 35人

麻生 シニアの力で地域の防災力UPを目指そう！

主 題：家族や地域のために防災に必要な知識を学ぶ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10	26	月	仕事や家族中心の生活だったシニアの方たちが、退職後等に地域で新たな生きがい探しをするきっかけづくりの場とする。防災・減災のために必要な知識を学び、自分や家族のみならず、地域のためにも役に立つことを考える。また、受講者同士がつながり、今後様々な活動につなげられることを目的とする	自己紹介・オリエンテーション～笑いヨガ体験～	あさおサークル連絡会「おたふく笑いヨガ」代表 渋谷 美恵子 職員
2	11	9	月		地震だ！その時、あせらずに対応するには？	防災ネットワークプラン 代表 井上 浩一
3		17	火		麻生区の防災計画について学ぼう～自助・共助・公助～	麻生区役所 危機管理担当 担当課長 三枝 正孝
4		30	月		町内会での防災について事例を学び、地域へ広げる方法を考えてみよう	真福寺町内会 会長 井上 俊夫 麻生区子ども会連合会 会長
5	12	7	月		アウトドアの知識を防災に活かす～身近なもので作れる防災グッズ作り、火熾し体験 他～	黒川青少年野外活動センター 所長 野口 透
6		14	月			
7	1	12	火		災害時に備える①～災害時の「食」について考えてみよう～	管理栄養士 室賀 伊都子
8		19	火		災害時に備える②～いざ！という時に役に立つ救急救命法と火災予防についてを学ぼう～	麻生消防署予防課予防係 永瀬 大 麻生消防署警防第2課救急係長 消防司令 中村 健次
9	2	8	月		災害時に備える③～避難所等での体調管理、地域に貢献できる身体作りを楽しく学ぼう～	管理栄養士・スポーツ指導員 米井 智子
10		22	月		学習のまとめと振り返り	職員

●開設場所 麻生市民館 他

●時間帯 原則10:00～12:00

●対 象 概ね50歳以上の方

●参加者数 20人(男8人、女12人)

●延べ人数 120人

岡上 食の達人から学ぶ岡上Ⅲ

主 題：地域を知り、愛着を持つと共に、仲間作りのきっかけとする

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	7	7	火	かわさきブランド野菜・地産地消について	地元の特徴である農・食について学ぶ	セレサ川崎農業協同組合 林田 剛
2		14	火	岡上の畑見学	かわさきブランド野菜の畑(トマト、キュウリ等)を見学する	神奈川県ふるさとの生活技術指導士 山田 美智子
3		23	木	調理体験を通じて、地産	地域の季節の野菜とその調理法について学ぶと共に、地産地消の良さを体感し、地域に愛着を持つと同時に参加者同士が交流する	
4		28	火	地消の大切さに気づく		
5	8	4	火	まとめと交流		

●開設場所 岡上分館、岡上地域

●時間帯 10:00～12:00

●対 象 概ね 50 歳以上の方

●参加者数 14 人 (男 4 人、女 10 人)

●延べ人数 61 人

VI1 (2) シニアの社会参加支援事業 (活動コース)

教文

主 題：ボランティアメイクに挑戦してみよう！

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	10	7	水	メイクの効果について学ぶ	外観（メイク）と心のつながりについて学ぶ	公益社団法人顔と心と体研究会 主任講師 西奈 まるか 他2名
2		14	水	他人へのメイクの仕方について学ぶ	基本的なメイク実技を学ぶ	
3		21	水	高齢者への接し方やメイクについて学ぶ	高齢者を想定したメイク実技を学ぶ	
4		28	水	実際の活動につなげるための人脈づくりを図る	ボランティア体験（通所介護「オレンジライフ」訪問）	職員
5	11	4	水		ボランティア体験（介護老人保健施設「葵の園・川崎」訪問）	
6	3	14	月	振り返り	実習を振り返り、今後の活動へつなげるための話し合いを行う	西奈 まるか

●開設場所 教育文化会館 他

●時間帯 10:00～12:00

●対象 50歳以上の関心のある方

●参加者数 10人（男0人、女10人）

●延べ人数 48人

幸 生涯学習ボランティア養成講座

主 題：地域の活動と市民を繋ぐ

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11	6	金	生涯学習情報提供・学習相談事業の実施にあたり、生涯学習相談に求められる基礎的な能力を高め、情報収集・情報提供・相談ができる市民館ボランティアを養成する	生涯学習社会と学習相談の意義	日本女子大学 助教授 山澤 和子
2		13	金		幸区内における文化活動について知る	幸区文化協会 事務局長 林 孝子
3		27	金		地域における生涯学習と学習相談による学習支援	幸区サークル連絡会 会長 矢木 秀子
4	12	4	金		地域で役立つ学習相談 地域活動支援を目指して	東京家政大学 講師 宮地 孝宜
5		11	金		学習相談のための傾聴	元幸市民館長 中村 高明
						ネットワークかわさき 西野 昭伸

●開設場所 幸市民館

●時間帯 14:00～16:00

●対象 関心のある方

●参加者数 8人（男6人、女2人）

●延べ人数 34人

中原 シニアの力で地域力UP↑～防災編

主 題：自分のため、家族のため、地域のために「備える」

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	1	23	土	都市型地震について考える	地図を広げて防災の視点で自分たちのまちについて考える	川崎市危機管理室 職員 机上防災訓練研究会 メンバー
2	2	6	土	都市型地震に備える①～災害に向き合う～	災害図上訓練DIGを通して、地域を知る	赤十字防災ボランティア指導者 杉野 紀行 机上防災訓練研究会 メンバー
3		14	日	都市型地震に備える②～地域の特性を知る～	大規模地震に備える～中原区編①災害の基礎知識②防災シミュレーションゲーム	
4		27	土	まとめ	いざという時慌てないために備えよう！自助から共助へ～シニアが支える地域力	

●開設場所 中原市民館

●時間帯 13:30～16:00

●対象 概ね50歳以上の方

●参加者数 15人(男10人、女5人)

●延べ人数 76人

高津 撮りたい、残したい 高津の風景

主 題：風景写真で地域の魅力を情報発信

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11	27	金	デジタルカメラによる撮影・保存・活用の基礎を学び、高津区内の風景・景観を写真に残し、写真により地域の魅力を発信する	オリエンテーションと撮影技術の基本的理解	写真小屋山ちゃん店主 フォトマスターエキスパート 山本 秀男
2	12	4	金		高津区「ふるさとアーカイブ」事業の意義	高津区役所企画課 熊島 豊和
3		11	金		高津区内での風景写真撮影の実習	山本 秀男 歩楽里写真部3人
4		19	土		パソコンによる写真の保存・管理・活用法などを学ぶ	歩楽里写真部3人
5		25	金		各自が撮影した写真の講師による講評と今後の活動に向けての話し合い	山本 秀男

●開設場所 高津市民館 他

●時間帯 13:30～15:30

●対象 概ね50歳以上の方 20人

●参加者数 19人(男13人、女6人)

●延べ人数 82人

宮前 地域で活かそう！あなたのチカラ

主 題：自らが持っている経験や知識の、地域活動での活かし方を考える

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2	28	日	お互いを知る	自己紹介。講座に参加した思いと、受講後のイメージを共有する	(有)コミュニティサポートネット 齋藤 千恵
2	3	6	日	地域活動で活かせるコミュニケーション術	地域活動に役立つコミュニケーションのポイントを知る	NPO法人かわさき創造プロジェクト 代表 大下 勝巳
3		12	土	市民館事業で活かせるチカラを考える	市民館事業「夏休み子どもあそびランド」を知り、活かせるチカラを考える	職員 夏休み子どもあそびランド2015企画運営委員
4		19	土	グループ化に成功した事例を知る	市民館の講座から生まれた会の成り立ちや今の活動を知る	シニアライフを生き生きと歩む会
5		26	土	振り返り	感想等を発表し合い、自分の「地域で活かせるチカラ」のまとめをする	齋藤 千恵

●開設場所 宮前市民館

●時間帯 10:00～12:00 3月6日のみ14:00～16:00

●対象 概ね50歳以上で、地域活動に関心のある方

●参加者数 7人(男3人、女4人)

●延べ人数 22人

多摩 今こそ継ごう、多摩魂！

主 題：多摩川音頭を覚えて、若い世代につなげていこう

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	2	25	木	シニア世代の市民が、地域の特色を色濃く反映した伝統・伝承について市民団体から学び、体験することにより、自身も地域に継承していく人材となり活躍の場を展開できるように、活動への意欲を増進する機会とする	オリエンテーション 多摩川音頭の概要を知り、関心を高めると共に話し合い交流を深める	職員 登喜葉会 会主 芹田 八重子 菊英会 会主 西山 英子
2	3	1	火		多摩川音頭の歌詞に盛り込まれた地域の風土を知り、伝統を学ぶ	音仁会 会主 余湖 英子
3		8	火		浴衣の着付けや、多摩川音頭の振り付けを覚え、実際に体験する	弘於会 会主 鈴木 柳子
4		15	火		地域の活動を通して、若い世代へ引き継ぐための手法を学ぶ	職員 余湖 英子

●開設場所 多摩市民館

●時間帯 9:30～12:00

●対象 概ね50歳以上の関心のある方

●参加者数 20人(男5人、女15人)

●延べ人数 73人

麻生 生涯学習相談員養成講座

主 題：あなたも地域の学習を支援する応援団で活躍を！

回	月	日	曜	学習課題	学習内容	講師・助言者など
1	11	11	水	縁結人は社会を変える	オリエンテーション 学習相談の意義とその果たす役割	昭和女子大学 教授 興梠 寛
2		18	水	生涯学習相談員の繋がりづくり	ワークを通して、自分たちのチームの強みや課題をメンバー間で共有する	米国CTI認定 プロフェッショナルコーチ・ネイチャーゲームリーダー 埜 博臣
3		25	水		生涯学習相談に対するお互いの思いや願いを共有し相互理解を深める	
4	12	2	水		ワークを通してその対処法を自ら見つけ、円滑なチーム作りに繋げる	

●開設場所 麻生市民館

●時間帯 ①10:00～12:00、②～④9:00～12:00

●対象 生涯学習相談員及び関心のある方

●参加者数 17人(男6人、女11人)

●延べ人数 56人

